

Title	開港場の外人と鐵錢
Sub Title	
Author	高橋, 碩一(Takahashi, Shinichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1938
Jtitle	史学 Vol.17, No.2 (1938. 11) ,p.164(310)- 164(310)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19381100-0164

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

開港場の外人と鐵錢

小判の三分ノ二がたの縮少（萬延改革）と之に伴ふ鐵錢の新鑄、之が一般生活を如何に脅かしたかはブリユー・ブックの筆者がオルコックからの情報をそのまま拜借して記してゐる通りであるが、この鐵錢を外國人は如何に見たか、その信用の程度や賣買の實際を示す面白い史料として横濱繁昌記初編第五丁にある蕃客學レ語なる一節を紹介する。

……客道。那比目魚一頭。要二幾個天保一麼。賈將レ掌拊レ胸道。小子不三敢購、倭幣一分銀兩個了。客睜レ眼搖レ手言。卿要二高價一哩。倭國商貨恰如二芙蓉峰一一般。賈言。小子情願減二些價一罷。客言。七個天保錢便了。賈言。相公便了。小子甚不レ好了。原來一分銀一個。亦甚便二宜相公一哩。客言。如此。消二天保錢十個一罷。賈言。好々（横濱賈人與蕃客對話、毎々如此。傍訓直寫二其實一看者宜二以レ意會レ意而讀二）

客願指顧呼。不レ鮮二其語一。一黑奴跑来。收二比比目魚。手提而起。客探レ襟投二一分金。賈撈二籃底。計二天保錢六個及鍊鑄錢四五十個交レ客唯收二大者一去二小者。叫二一聲明日一而去。蓋蕃客偏愛二銅錢。不レ喜二鍊錢一也。……

こゝに天保錢が登場したがこれと鐵錢との關係その他についてはブリユー・ブック第三報告に天保錢の分析表を添へて述べられてゐる。（高橋碩一）